

平成 28 年 10 月 3 日

(株)深松組代表取締役社長
深松 努殿

日本大学工学部土木工学科
教室主任 梅村 靖弘



日本大学工学部震災復興フォーラムへの講演依頼

平素から格段のご高配、ご指導を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、日本大学工学部、桜門技術士会と共同開催で、下記の通り、震災復興フォーラムのシンポジウムを企画することになりました。

つきましては、ご多忙の折、誠に恐れ入りますが、このシンポジウムに、ご講演を戴きたく、ご配慮の程よろしくお願い申し上げます。

記

1. 開催日 平成 28 年 10 月 18 日(火)
2. 場 所 日本大学工学部 CST ホール
東京都千代田区神田駿河台 1-8-14
3. 集 合 日本大学工学部 1 号館 2F 会議室
13 時 30 分より、パネルディスカッションの調整を図ります。
4. 御依頼内容
ご講演「現場からの証言 復興に向けての課題と提言」 25 分程度
ご登壇 パネルディスカッション 90 分程度
「震災復興の本質とは何か
—土木が求める市民復興の真の姿とは—」
5. シンポジウムフライヤー(案)
別紙参照

以上

震災復興の本質とは何か

—土木が求める市民復興の真の姿とは—



御茶ノ水
日本大学理工学部
CSTホール
10月18日(火)
15:00～

東日本大震災から5年経過し、復興の兆しが見えてきた。震災復興のために土木は、インフラの再建、国土の保全、強化と重要な役割を果たしてきた。さらに、本来の復興とは、まちのコミュニティやライフスタイルを取り戻し、市民の笑顔まで取り戻すことが復興である。ここでは、東日本大震災でご尽力された3名のゲストを迎えて、震災復興のために、土木だけではなく、政治、経済にも焦点を当て、まちの震災復興に重要なプロセスを浮き彫りにし、「震災復興の本質とは何か」について議論したい。

日時 | 10月18日(火) 15:00 開場
15:10 第一部 震災復興の土木力
16:30 第二部 震災復興の本質とは何か

場所 | 日本大学理工学部1号館 CSTホール
東京都千代田区神田駿河台1-8-14

申込み | 桜門技術士会HP「フォーラム祝賀会等の申込み」から登録して下さい
参加費 | 学生・教員無料、一般2,000円
別途懇親会を予定3,000円(同大学カフェテリア2F)

第一部 震災復興の土木力

- 「塩竈市の被災から復興の歩み」 佐藤 昭 塩竈市長
「被災時の市民のための土木と行動」 原田 吉信 国土交通省東北地方整備局
企画部技術開発調整官
「現場からの証言 復興に向けての課題と提言」
深松 努 仙台建設業協会副会長

第二部 震災復興の本質とは何か

—土木が求める市民復興の真の姿とは—

- 【パネリスト】 佐藤 昭 塩竈市長
原田 吉信 国土交通省東北地方整備局企画部技術開発調整官
深松 努 仙台建設業協会副会長
【司会】 関 文夫 日本大学理工学部土木工学科教授

共催 | 日本大学理工学部土木工学科、桜門技術士会、桜門工業クラブ
後援 | 日本大学工学部土木工学科、生産工学部土木工学科、理工学部交通システム工学科



佐藤 昭 | さとう あきら 土木技術者/政治家
塩竈市長
日本大学理工学部土木工学科卒(S41年卒)

大学卒業後、宮城県庁に入庁、土木部港湾整備課長、道路建設課長、港湾空港局長等を歴任。宮城県庁を退職後、平成15年に塩竈市長に就任し、現在4期目。「おいしさ笑顔がつどうみなとまち」を目指し、また、東日本大震災からの復興に向けて日々尽力。



原田 吉信 | はらだ よしのぶ 土木技術者
国土交通省東北地方整備局企画部 技術開発調整官
日本大学理工学部土木工学科卒(S56年卒)

大学卒業後、国土交通省入省。東北地方を中心に道路事業を担当し、東北幹線道路調査事務所長や郡山国道事務所長を歴任し、現在に至る。



深松 努 | ふかまつ つとむ 経営者/土木技術者
株深松組代表取締役社長、仙台建設業協会副会長
日本大学理工学部土木工学科卒(S62年卒)

大学卒業後、前田建設工業(株)に入社。平成4年に株深松組へ入社した後、平成20年に代表取締役社長に就任。東日本大震災において、津波などで900人以上の尊い命が失われた仙台市で、震災発生当初から警察や自治体とともに遺体捜索並びにがれき処理作業責任者として、現場の指揮を執る。



関 文夫 | せき ふみお 土木設計家/土木技術者/教育者
日本大学理工学部土木工学科 教授 博士(工学)
日本大学理工学部土木工学科卒(S60年卒)

大学卒業後、大成建設(株)に入社。橋梁を中心に設計と現場を往来した後に、環境と構造を融合した土木デザインを確立。東日本大震災では、震災直後に防波堤の基軸となるデザインを提案。現在、消防、警察、自衛隊の災害訓練施設の設計分野で救助技術を支援。